

# 《日商簿記2級》 —工業簿記—

## 2. 工業簿記の基礎

～製造原価の分類と原価計算の流れについて～



ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



# 工業簿記の基礎

## ～製造原価の分類について～



ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiirroha.com>



# 工業簿記の基礎 ～製造原価の分類について～

## <形態別分類>

・製造原価の形態別分類とは、「どのようなモノ(サービス)から発生した原価なのか」といった発生形態をもとに、( )・( )・( )の3つに分類する方法をいう。

材料費	製品を製造するために( )の金額
労務費	製品を製造するために( )の金額
経費	製品を製造するために( )の金額



## <【参考】機能別分類>

・機能別分類とは、「どのような機能で使った原価なのか」といった使う目的まで加味して分類する方法をいう。

形態別分類	機能別分類
材料費	主要材料費、補助材料費、工場消耗品費など
労務費	賃金・給料・賞与など
経費	外注加工費、減価償却費、水道光熱費、修繕費など

### ○用語○

- ( )…表面的に見たままの形
- ( )…ものの働き
- ( )…(モノや労力、エネルギー等を)使ってなくすこと
- ( )…(製造に携わる)工員への給与
- ( )…(製造に携わらない人への)給与

# 工業簿記の基礎 ~製造原価の分類について~

## <製品との関連による分類>

- ・製造原価の「製品との関連による分類」とは、ある製品にいくらかかったかを明確か不明確かで分類する方法である。
- ・ある製品にいくらかかったかが明確な製造原価→( )
- ・ある製品にいくらかかったかが不明確な製造原価→( )



### ●ポイント●

- ・明確か不明確かというのは、特定の製品にいくらかかったかを紐づけてできるかどうかで考える  
(製品Aに100円・製品Bに200円・製品Cに300円など)
- ・紐づけてできるものは「( )」、できないものは「( )」

# 工業簿記の基礎

～製造原価の分類について～

＜「形態別分類」と「製品との関連による分類」の関係＞



		製品との関連による分類	
		製造直接費	製造間接費
形態別 分類	材料費		
	労務費		
	経費		

※なお、製造原価は「直接材料費」と「( )」の2つに分類する場合もある。

# 工業簿記の基礎

## ～原価計算の流れについて～

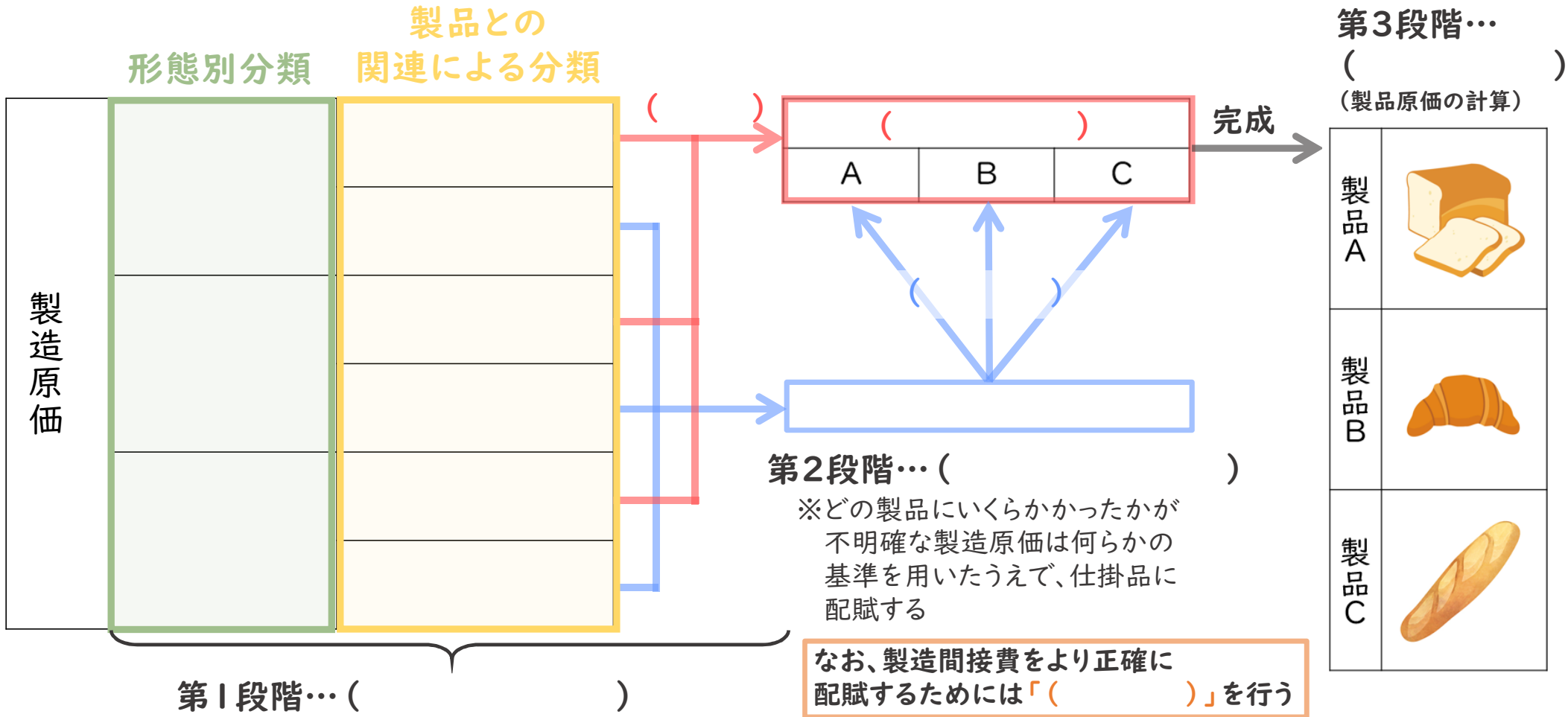
ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



# 工業簿記の基礎

## <原価計算の流れ(計算段階)>

○用語○  
 費目…使い道で分けた費用の名目  
 ( )…(加工途中の)未成品  
 ( )…直接、原価を割り当てること  
 ( )…ある基準を用いて原価を割り当てること  
 部門…(工場の)組織における部署のこと(切削部門、組立部門など)



# 工業簿記の基礎

○用語○

受注生産…顧客の注文を受けてから生産する形態（在庫を持たない）  
見込生産…顧客の需要を予測してから見込みで生産する形態

## <第3段階…製品原価の計算方法について>

- ・製品原価の計算方法は、製品の生産形態の違いにより、（ ）と（ ）の2つの方法がある。
- ・（ ）は、いわゆる「オーダーメイド」で、受注生産で製品の製造を行う業種（建設業・造船業など）で用いられる計算方法である。
- ・（ ）は、見込み生産で同じ規格の製品を大量に生産する業種（衣料品製造業など）で用いられる計算方法である。

○製造原価の分類○

		個別原価計算の場合	総合原価計算の場合
材料費		直接材料費	直接材料費
		間接材料費	
労務費		直接労務費	加工費
		間接労務費	
経費		直接経費	
		間接経費	



## 《まとめ》

- 形態別分類は、製造原価を（ ）に分類する
- 製品との関連による分類は、ある製品にいくら使ったかが明確な製造原価は（ ）、不明確な製造原価は（ ）に分類する
- 加工途中の未完成品は、（ ）という
- ある基準を用いて原価を割り当てることを、（ ）という
- 原価計算は3つの段階（費目別計算・製造間接費の配賦（部門別計算）・製品別計算）で行われる。



※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、ぜひ、高評価をお願いします！

第2回の内容お疲れさまでした♪

